

経済政策論 A

—金融市場—

山田知明

明治大学

2025 年度講義スライド (5)



貨幣市場の均衡

- これまで財市場 (実物) を考えてきた
- 次に貨幣的側面 (Monetary Side) を考えてみよう
 - 経済政策における中央銀行の役割
- (少しだけ) 食い違う意見
 - 中央銀行が目標とするのは貨幣?それとも利子率?
- Mankiw 教授のブログ
 - <http://gregmankiw.blogspot.com/2006/05/is-lm-model.html>

資産市場と貨幣の役割

- 貨幣の役割
 - (a) 交換手段、(b) 価値尺度、(c) 価値の保蔵手段
 - 人々はどのようなときに貨幣保有量を増やす/減らすのか?
1. 取引需要の拡大・縮小
 - 取引には通常、貨幣が必要
 - ポール・クルーグマン：ベビーシッターのクーポン券
 2. **名目金利 i の低下・上昇**
 - 資産としての貨幣の魅力は名目金利に依存
 - 貨幣は便利だけど、金利が高いと貨幣を持つより (国債などの) 債券で保有した方が得

流動性選好理論

- 貨幣市場
 - 産出量 Y が増加すれば実質貨幣需要 (M/P) も増加する
 - 名目金利 i が上昇すると貨幣需要は低下する
- 産出量が増加した時、貨幣供給量が同じであるならば、貨幣市場を均衡させる名目金利は高くなる
 1. 取引に必要な貨幣が不足
 2. 貨幣市場における均衡金利が上昇
- 貨幣市場において産出量 Y と名目金利 i は正の関係性がある
- 注意：今は物価が一定の世界を考えているので名目金利 $i =$ 実質金利 r

LM 曲線

- 流動性選好 (貨幣需要関数)

$$\frac{M}{P} = L(Y, i) = L_0 + hY - ki, \quad h > 0, \quad k > 0$$
$$\frac{\Delta L}{\Delta Y} > 0, \quad \frac{\Delta L}{\Delta i} < 0$$

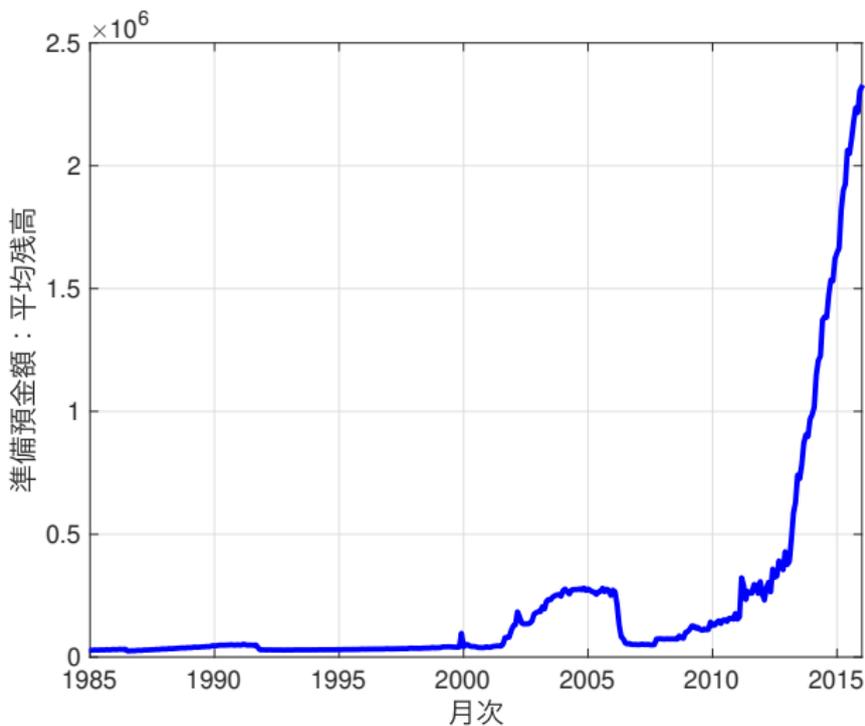
- $\frac{M}{P}$: 実質貨幣残高
- M : 貨幣供給量、 P : 一般物価水準
- 貨幣供給量の増大 \Rightarrow LM 曲線を右にシフト

[図 : LM 曲線]

貨幣供給をコントロールする

- 中央銀行 (日本銀行) の役割
 - 貨幣の安定的供給
- ハイパワードマネー
 - = 現金通貨 + 銀行の預金準備
 - 預金準備：銀行が預金の引き出しに備えて保有するお金
 - 「マネタリーベース」、「ベースマネー」とも呼ばれる
- 貨幣供給 = 貨幣乗数 × ハイパワードマネー
 - 信用創造
 - 銀行の取り付け騒ぎと自己資本規制

準備預金額



貨幣供給をコントロールする (続き)

1. 基準割引率および基準貸付利率 (← 公定歩合)
2. 公開市場操作 (Open Market Operation)
 - 買いオペレーション
 - 売りオペレーション
 - 金融政策決定会合 (日本銀行)
 - FOMC(連邦公開市場委員会)
3. 法定準備操作
 - 預金準備率の変更

中央銀行

- 先進国の中央銀行が実際にコントロールしているのは、
 1. 金利・利子率
 2. 貨幣供給量?
- 何に基づいて金利を調整するのか?
 - インフレ率 π
 - 産出量 (あるいは GDP 成長率、GDP ギャップ)